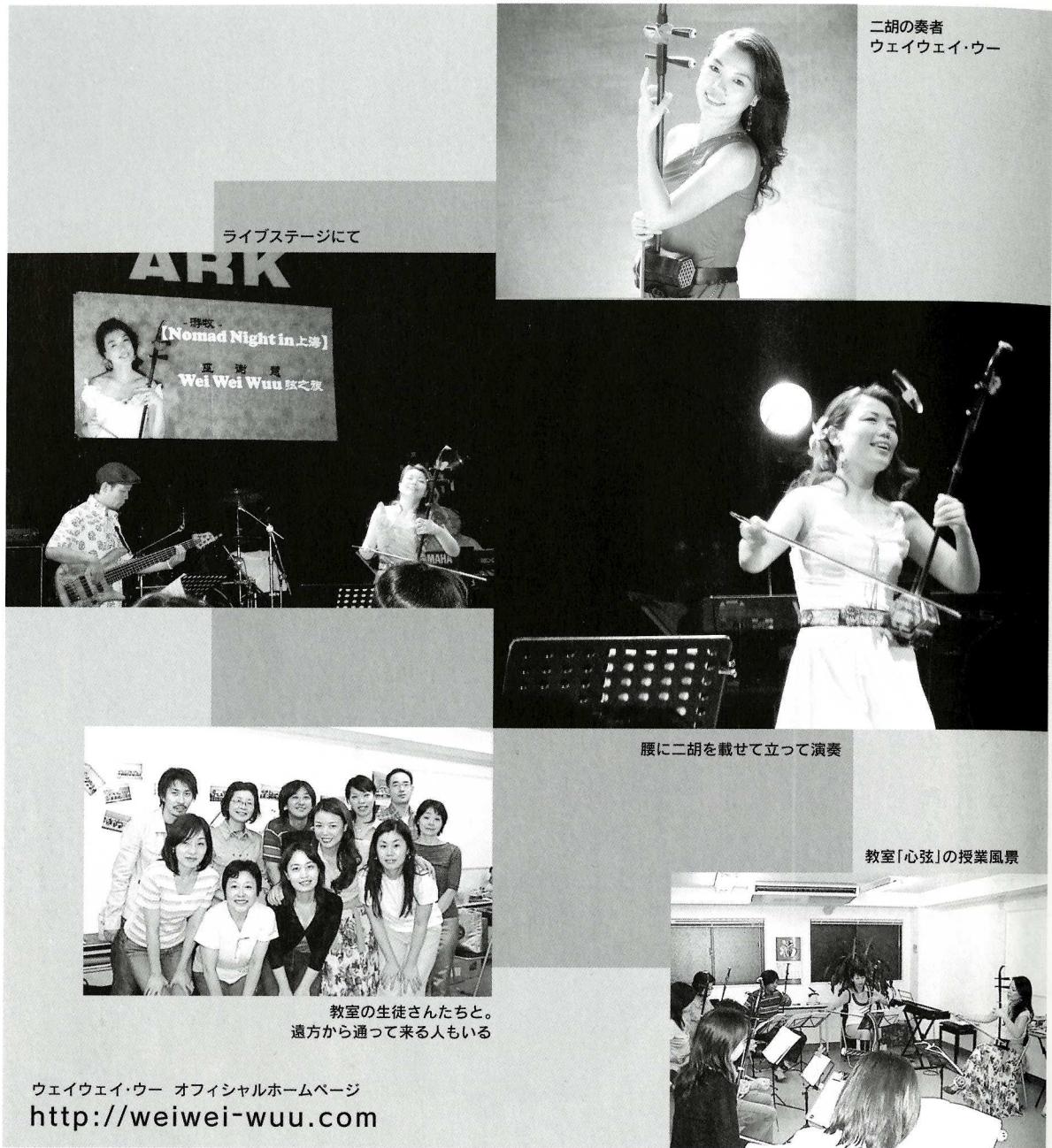


「ジャズに」「胡?」



ウェイウェイ・ワー オフィシャルホームページ
<http://weiwei-wuu.com>

ド「五星旗」を結成してしまった(笑)。バンドを組んでから、二胡が他の楽器に負けないようにするにはどうすればいいのか考えた。「すぐ東急ハンズに行つて、いろんな道具を手に入れて工夫しました」。研究に研究を重ね開発したのが、今の独自のスタイルだ。二胡の新しい可能性を切り拓いた彼女は、その後いろいろなジャンルの音楽とのコラボレーションを果たし音楽の境界を越えた作品が話題となつた。二〇〇二年にはワーナーミュージック・ジャパンより[Memories of the Future]でメロディーデビューした。二〇〇三年には、プロ野球の開幕戦で「君が代」を演奏した。外国人、特に中国人として「君が代」を演奏したときの思いを聞くと、「オファーがあったとき、光榮だと思いました。中国(母国)の楽器を使って自分が暮している国の歌を、ておかなかつた。一九九六年「香川事件」が起つたのだ。彼女の妹で、アジアの歌姫として知られNHK紅白歌合戦にも中国人歌手として初出場したaminaが、当時、ロッキンサートを開く予定だつた。しかしその前日急病となり、「代わりに出て」と助けを求めてきた。翌日ニユーヨーク行きを控えていたので迷つたが、急遽キャンセルしてすぐに会場である香川に飛んだ。「ファンキーさん」「アドリブでいいのでお願いします」と言われ、激しいロックに合わせて二胡を弾きました。クラシックをやつてきたわたしにはアドリブなんて初めてだつたんです。でも、やつてみたらとても気持ち良くなつて。一週間後には、ファンキーさんたちとバン

メディアなどに引っ張り風で忙しいな

か、彼女はもうひとつ顔をもつ。二胡の教室「心弦」の主宰である。来日当初、短大に通いながら「二胡を教えて」と言う友人や知り合いたちの要望に応え、自宅で個人レッスンをしていた。親切で丁寧な教え方が評判となり、口コミで生徒が増え、やがてグループレッスンができるクラスを始めることとなつた。「心弦」は、今年で成立一二年を迎える。人びとの「心の弦」を弾き、感動を与えるようにとの思いから命名したそうだ。多くの生徒を輩出しながらには「二胡の講師や奏者になつた人もいる。ウエイウェイさんに学んで三年になる学生の一人は、中国での二胡検定試験上級レベルに合格し、最近「心弦」の初心者向けクラスの講師を始めた。銀行マンをしていましたが、一年前に仕事を辞め、今は講師をしながらアルバイトをして暮しています。中国語も学び始め、いつかは本格的な二胡の先生になりたいと思っています。二胡、そしてウエイウェイティイでもある二胡、そして中国の文化を紹介すると、みんな吸収しても尊重してくれます。外国人として日本で生きる人たちに伝えたいことがあります。ちゃんと自分のアイデンティティをもち、人に伝えることが大切だと思います。わたしのアイデンティティでもある二胡、そして人生が変わりました」とイキイキしている。ウエイウェイさんは言う。「すばらしい日本人の生徒に囲まれて幸せです。わたしのアイデンティティでもある二胡、そして中国の文化を紹介すると、みんな吸収しても尊重してくれます。外国人として日本で生きる人たちに伝えたいことがあります。ちゃんと自分のアイデンティティをもち、人に伝えることが大切だと思います。自分がしっかりとしないと、他人には何も伝わらないから」。

彼女が奏でるメロディーが人びとの心に届くのは、しっかりと自分のスタイルをもつているからなのだろう。

外国人として生きる

心で奏でるビーナス —ウェイウェイ・ワー(巫 謝慧)—

陳 天璽(ちんてんじ)

本館先端人類科学研究所

東京のジャズクラブ、ブルース・アレイ、ジャパンで有名男性アーティスト久米大作を中心に、バカボン鈴木などによる「ユージョンジャズのライブがおこなわれていた。ゲストにバーカッショーン奏者の齊藤ノブも加わり、ジャズに特有の男臭さが度を増すなか、スペシャルゲストとして中国人女性が紹介された。白いドレスに身を包み二胡(中国の伝統楽器)をもつての登場。「えつ? ジャズに『二胡?』と首をかしげていたわたしも、いつの間にか『暗やみに咲いた一輪の白い花』の虜になつた。彼女の奏でる音色は、ピアノ、ドラム、ギターなどに負けない力強さと情熱をもつっていた。そして、曲が変わると一転して、やさしく奥深いメロディーでわたしをリラックスさせ非日常の世界へと引き込んだのだった。

ウェイウェイ・ワー。彼女は日本、そして世界で注目を浴びている二胡の奏者である。二胡は座つて演奏されるのが常だが、彼女の場合は腰に特注のスタンドをはめ、そこに二胡を載せて立つて演奏をする。また独自で開発したエレクトリック二胡を用いているので、ジャズやクラシックはもちろんのこと、ロックやラテンなど洋の東西を問わず幅広いコラボレーションを可能にしている。ウェイウェイ・ワーが体現する二胡の斬新さとスケールの広さは、まさに目から鱗だ。中国上海出身。音楽一家に生まれた彼女は、幼少のころからクラシックバイオリンを学び、九歳で名門音楽学校「上海音楽学院附属小学校」に入学。一五歳のとき、クラシック曲を二胡で表現したいと思ったのが、

そんな彼女の好奇心と才能を神はほつておかなかつた。一九九六年「香川事件」が起つたのだ。彼女の妹で、アジアの歌姫として知られNHK紅白歌合戦にも中国人歌手として初出場したaminaが、当時、ロッキンサートを開く予定だつた。しかしその前日急病となり、「代わりに出て」と助けを求めてきた。翌日ニユーヨーク行きを控えていたので迷つたが、急遽キャンセルしてすぐに会場である香川に飛んだ。「ファンキーさん」「アドリブでいいのでお願いします」と言われ、激しいロックに合わせて二胡を弾きました。クラシックをやつてきたわたしにはアドリブなんて初めてだつたんです。でも、やつてみたらとても気持ち良くなつて。一週間後には、ファンキーさんたちとバン

アイデンティティを伝えて